

平成30年度

ふるさと納税を活用したクラウドファンディング 進捗報告

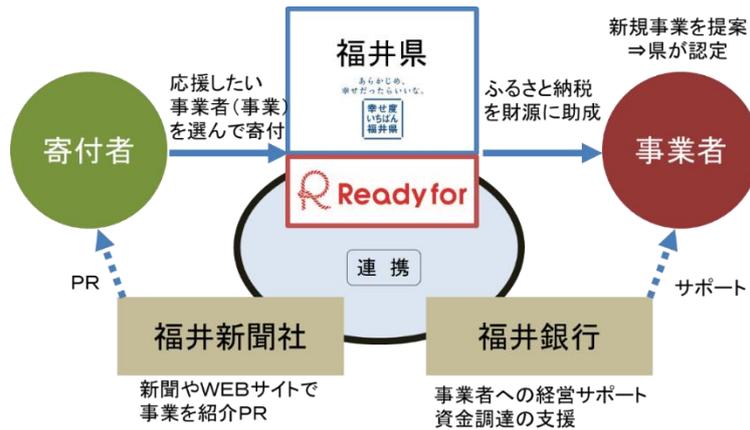
～ふるさと納税による新事業創出支援事業～



福井県交流文化部定住交流課

ふるさと納税を活用したクラウドファンディング

ふるさと納税の使いみちは、これまで自治体や学校での活用が中心でした。県では、寄付金を県民の皆さんの活動資金として活用するため、平成30年4月に新たな仕組みを創設。新商品の開発や販路開拓にチャレンジする事業者を、県内の新聞社や金融機関と協力して支援しています。



この仕組みでは、事業者は、クラウドファンディングにより事業資金を調達します。事業計画と寄付の目標額をクラウドファンディングサイト「Readyfor」上に掲載し、事業の賛同者からふるさと納税による寄付を募集。目標額に達した場合に、寄付金を原資とした奨励金を事業者に支給します。



平成30年度は、越前焼の技法を活用した腕時計の開発や、養殖アラレガコを使用した出汁醤油の開発、全国の職人やデザイナーが集まるものづくりイベントの開催などのプロジェクトについて支援を決定。6つのプロジェクトが目標額に達し、次々と魅力的なプロジェクトが実現しています。

プロジェクト名:全国のものづくり関係者が集う「ローカリズムEXPO」の開催

産地内外のものづくり等に関わるデザイナーや職人たちを集めた新たな交流イベント「まち／ひと／しごと-Localism Expo Fukui-」を開催するための資金を募集。寄付目標額100万円に対し、118万1千円の寄付をいただき、目標を達成しました。

この寄付を活用して、平成30年10月18日から4日間、鯖江市河和田のうるしの里会館を中心に、当イベントを開催。全国各地から21の出店者が集い、4日間で2千人を超える方が集まりました。

会期中は、県外からの出店者と地域のものづくりに関わる職人との交流の場を設け、職人による新しい挑戦のためのヒントを得る機会を提供しており、今後の展開が期待されます。

来年度も、同様のイベントを開催し、産地の持続可能な未来のあり方を探る取組を続けていく予定です。



メッセージ

■ RENEW実行委員会 森 一貴 氏

皆様、ご支援ありがとうございました。

10/18～21に開催された「ローカリズムEXPO」あらため「まちひとしごと」では、鯖江市河和田地区に北は山形、南は鹿児島から社会的意義の高い活動に挑む21の出展者が揃い踏み、県内外から多数のお客様に会場していただきました。

私たちは、ものづくりのまち・福井県丹南エリアで「持続可能な産地」の実現を目指しています。今回の取り組みはその第一歩。

全国の多様な視点を持つ人々に触れることで、産地の人々がその熱量を受け取ってほしいという思いで始まりました。

その熱量が少しずつ形となるよう、ぜひ引き続き、福井のものづくりを見守っていただければ幸いです。



プロジェクト名: 県内クリエイターによる映画製作およびシネマコンサートの開催

福井県内のクリエイターの力を結集し、映画を製作して生演奏と映画鑑賞を組み合わせたシネマコンサート「こひ。」を開催するための資金を募集。寄付目標額80万円に対し、89万円の寄付をいただき、目標を達成しました。

この寄付を活用して、平成30年10月6日、福井県県民ホールにおいて公演を実現。入場者は500名を超え、ほぼ満員で盛況のうちに終えることができました。

映画製作に参加した学生ボランティアへの製作指導も行われ、県内のクリエイターの力を結集して美しい映像が完成しました。

公演では、映画にマッチした素晴らしい演奏が披露され、シネマコンサートという新しいジャンルを切り開くとともに、県内クリエイターの技術力や作品のクオリティの高さを証明することができました。

今後は、第2回目のシネマコンサート開催を目指して活動し、全国に向けて発信を強めていく予定です。



メッセージ

■アートメイドインフクイ実行委員会 小鶴 乃哩子 氏

この度は、アートメイドインフクイ実行委員会にご支援、ご寄付頂きまして心から感謝申し上げます。

『福井のアートシーンを活性化し、全国へ世界へと発信!』という大目標のもと、今回のクラウドファンディングにチャレンジさせて頂きました。「どうすれば皆様に応援して貰えるか」この2カ月間、そればかり考えておりました。ふるさと納税を活用したクラウドファンディングという伝え方も、初めは上手くいかず苦戦しましたが、県のご担当者やレディフォーの皆様をサポート頂き、少しずつアピールすることかが出来ました。ご尽力頂いた皆様にも感謝致します。

福井の才能豊かなアーティスト、クリエイターの活躍できる場を作っていけるようアートメイドインフクイ実行委員会を引き続き応援よろしくお願い致します。



プロジェクト名:着脱が容易なリングファスナー付ワイシャツの販路開拓

脱ぎ着がしやすく、ボタン留めを不要にしたファスナーの先端にリングをつけたワイシャツ(「ふく楽ワイシャツ」)を、全国の指先が不自由な方々に届けるため、新たにホームページを制作するための資金を募集。寄付目標額60万円に対し、61万1千円の寄付をいただき、目標を達成しました。

この寄付を活用して、ふく楽ワイシャツを販売するウェブサイト制作を進め、2月24日に公開を果たしました。既に、県外からの注文も入っており、受注機会の増加に貢献しています。

今後は、このウェブサイトを通じて、全国の手先の不自由な方々など、「ふく楽ワイシャツ」を必要とされている方々に販売していけるよう、SNS等を活用した広告宣伝に力を入れていくこととしています。

WOWMA!内フ克蘭・ラボ ページURL

https://wowma.jp/user/45734359?_ga=2.121616456.1198666895.1545972315-1838466272.1543983655



QRコード

メッセージ

■フ克蘭・ラボ 代表 前田 まゆみ 氏

目標額を達成できることができました。心から感謝申し上げます。

このプロジェクトを諦めかけた瞬間がありましたが、脳性麻痺のご息のためワイシャツを求めている方の応援メッセージをいただき、この思いをかなえたいと思うようになりました。

「ふく楽ワイシャツ」は、2年前、父の軽い脳梗塞をきっかけに考案したものです。その後のリハビリで、父は田畑に専念できるようになるまで回復しましたが、今年3月には母が脳梗塞のため軽い右麻痺と失語になり、日常生活に不便を感じながら日々を過ごしています。

今後は、私の両親のように何かしら不便を感じておられ、「ふく楽ワイシャツ」を必要とされている方々に少しでも寄り添うことができるようホームページを立ち上げたいと思います。



プロジェクト名:越前焼薄作りと越前漆器の技術を用いた腕時計の開発

越前焼の技術「薄作り」と越前漆器の技術により文字盤を作成し、他にはないコラボ腕時計の開発するための資金を募集。寄付目標額100万円に対し、104万円の寄付をいただき、目標を達成しました。

この寄付を活用して、越前焼のパーツの試作や越前焼と漆器の組み合わせ等のデザインを進めてきた結果、第1弾の製品として2月下旬に寄付者の皆様にお届けすることができました。

今後もデザインの違う製品の検討を並行して進める、4月1日より一般販売を開始しています。

この腕時計の販売を通じて、越前焼の知名度と付加価値をこれまで以上に高めていくとともに、越前漆器とともに伝統工芸品の産地としての丹南地域の活性化につながっていくことが期待されます。



メッセージ

■越前焼工業協同組合 営業課長 大瀧 和憲 氏

皆さまの応援で寄付目標額を達成することができました。ありがとうございました。

クラウドファンディングの知識の無かった自分にとって、今回の取り組みは本当に勉強になりました。今回の取り組みを若い窯元に還元し、今後の商品の活性化に役立たせたいと思います。

寄付を活用して、越前焼の部品の試作を進め、漆器との組み合わせ等をデザイナーと共に決め、4月より販売をスタートしています。

この腕時計の販売を通じて、越前焼の知名度と付加価値をこれまで以上に高め、作り手の技術の高さと越前の土の素晴らしさ、そして越前漆器の良さを広めて行きたいと考えています。

改めまして、応援いただいた皆さま本当にありがとうございました。



プロジェクト名: 養殖アラレガコを使用した出汁醤油の開発

九頭竜川に生息する「アラレガコ」は数が減少しており、福井伝統の食文化を伝えていくことが難しくなっています。現在、県立大学、㈱コリンズカンパニー等はアラレガコ養殖の技術向上に取り組んでおり、食文化の保存を進めるため、養殖アラレガコを用いた出汁醤油を開発するための資金を募集。寄付目標額80万円に対し、110万円の寄付をいただき、目標を達成しました。

この寄付を活用して、当初予定していた出汁醤油に加えて、オリーブ醤油ドレッシングの開発を進め、いずれも2月20日に完成しました。

これらの商品は、今年4月から製造元の醤油会社より、一般向けに販売が開始されることになりました。

アラレガコの食文化の保存のためには、アラレガコの数を増やししながら、アラレガコの認知度を高めていくため、これらの加工品の普及に力を注いでいくこととしています。



メッセージ

■㈱コリンズカンパニー 代表取締役 小林 博之 氏

この度は、福井県のふるさと納税によるクラウドファンディングにより「養殖アラレガコの出汁醤油」の開発資金を、9月末から11月末まで寄付募集し、多くの皆様からご支援いただき、当初の目標を達成したばかりではなく、Next Goalの「養殖アラレガコオリーブ醤油」の開発資金まで達成する事が出来ました。

募集開始する前は、目標達成できるか不安でしたが、募集期間中、私の知人友人はじめ、募集しているサイトやSNSを通じて、本事業を知った方からもご寄付いただき、予想以上の反響に驚く結果になりました。

ここに、ご声援ご支援いただきました皆様に厚くお礼と感謝を申し上げます。誠に有り難うございます。



プロジェクト名:福井の伝統食文化「油揚げ」の海外販路展開

福井の伝統食「油あげ」を福井の食の代表として世界に広げていくため、海外において市場調査や試食イベントを開催するための資金を募集。寄付目標額100万円に対し、128万5千円の寄付をいただき、目標を達成しました。

この寄付を活用して市場調査を行うにあたり、海外進出の候補地を選定。第1弾として3月7日、8日に米国・ブルックリンにおける試食会イベントを開催しました。

この試食会で、油揚げを食べてもらった方の声を参考に、現地の加工会社との調整し、冷凍耐性のある油揚げの開発や、常温保存が可能な加工商品の選別を進め、今後、1～2年を目途に輸出開始を目指しています、

福井の伝統食文化が、世界の「OAGE」となるよう今後の本格的な取引のための第一歩を踏み出します。



メッセージ

■(有)谷口屋 代表取締役 谷口 誠 氏

この度、地元福井県ふるさと納税、クラウドファンディングの機会を頂きました。

皆様のご支援を頂き心より感謝申し上げます。

海外において、日本食ブームが続いている中、谷口屋のおあげが世界の人々に食べて頂けるのか、口に合うのかなど谷口屋にとって未知の世界です。

勇気を持って、竹田の油あげを海外における市場動向や商品ニーズの調査を行い、世界への販路開拓を夢ではなく目標、通過点と捉え日々精進しております。「おあげ(OAGE)でえがお(EGAO)を世界へ!!」をスローガンに少しずつ未来に向けて前進させたいと本気で思っています。

どうか、今後とも引き続きご支援とご協力を宜しくお願い申し上げます。

